

千葉科学大学薬学部薬学科・カリキュラムツリー

薬剤師として求められる基本的な資質(薬学教育モデル・コアカリキュラム(平成25年改訂版)より項目のみ抜粋)

- ①薬剤師としての心構え、②患者・生活者本位の視点、③コミュニケーション能力、④チーム医療への参画、⑤基礎的な科学力、⑥薬物療法における実践的能力、⑦地域の保健・医療における実践的能力、⑧研究能力、⑨自己研鑽、⑩教育能力

薬学部薬学科ディプロマポリシー *「薬剤師として求められる基本的な資質」との関係性を番号で示した。

薬学に関する知識と技術を学び、薬学の立場から危機管理の素養を備え、安全・安心な社会の構築に寄与する態度や思考力を身につけた者に学士(薬学)の学位が授与される。

知識 人文・社会科学の基礎的教養(①)

自然科学の基礎的な知識と応用力(⑤)

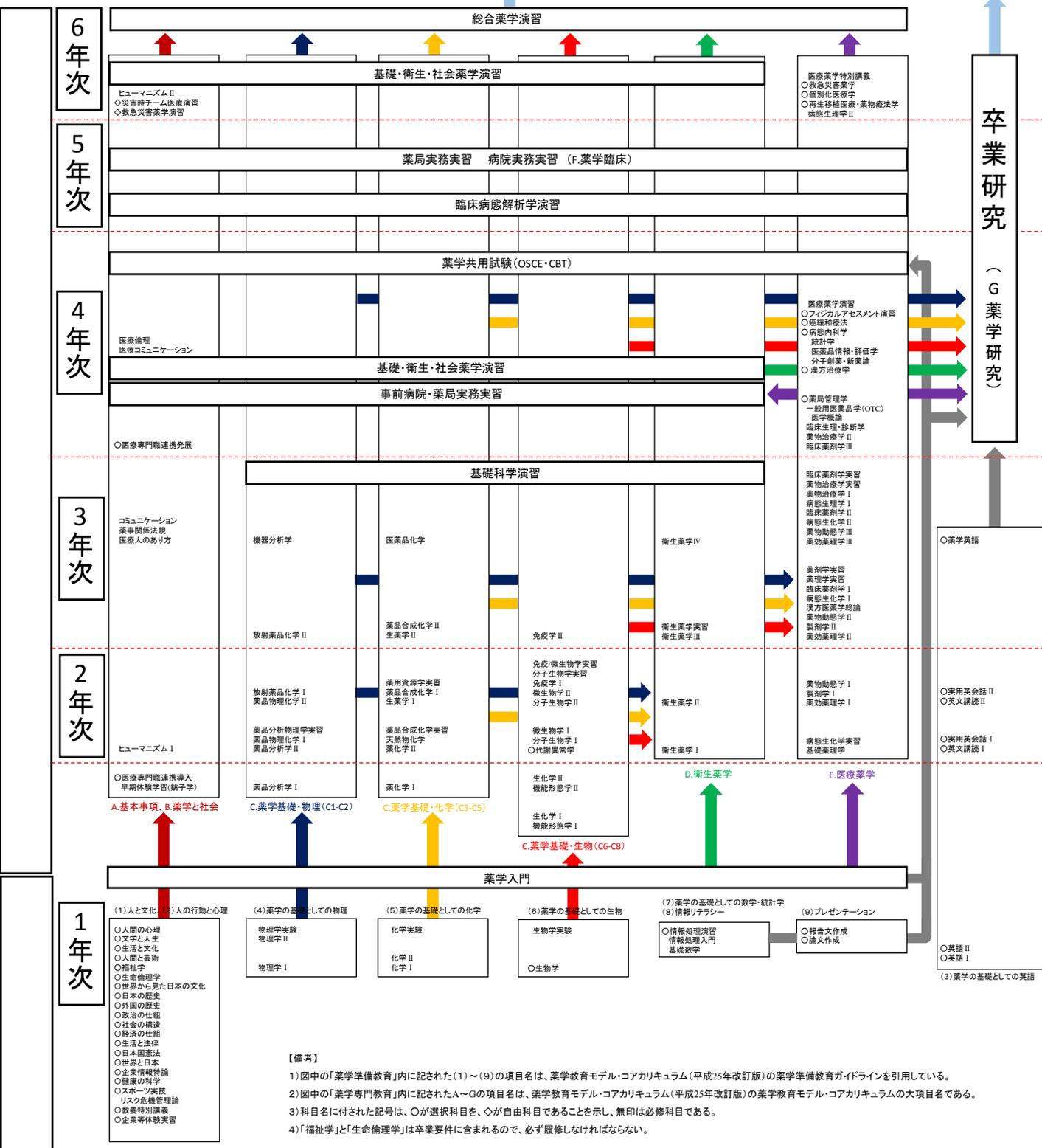
薬学に関する専門知識(⑤)

技能 薬学に関する技能(⑤、⑧)、薬学の立場から危機管理の素養を備え安全で有効な薬品の使用を推進する技能(⑤、⑥、⑧)

態度 薬剤師を目指す者として、必要なコミュニケーション能力(③)、薬学・医療に対する使命感や倫理観(①)、次世代を担う人材を育成する意欲と態度を有し(⑩)、チーム医療や地域住民の健康増進・福祉向上への取り組みに積極的に

参画する態度(④、⑦)、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲(⑨)

思考力 薬学・医療分野において、患者・生活者本位の視点に立ち(②)、新たな課題を解決する能力(⑧)



【備考】

- 1) 図中の「薬学準備教育」内に記された(1)～(9)の項目名は、薬学教育モデル・コアカリキュラム(平成25年改訂版)の薬学準備教育ガイドラインを引用している。
- 2) 図中の「薬学専門教育」内に記されたA～Gの項目名は、薬学教育モデル・コアカリキュラム(平成25年改訂版)の薬学教育モデル・コアカリキュラムの大項目名である。
- 3) 科目名に付された記号は、○が選択科目を、◇が自由科目であることを示し、無印は必修科目である。
- 4) 「福祉学」と「生命倫理学」は卒業要件に含まれるので、必ず履修しなければならない。

千葉科学大学薬学部生命薬科学科・カリキュラムツリー

薬学部生命薬科学科ディプロマポリシー
 「学士(生命薬科学)」は、薬学・生命科学に関する専門知識、技能及び問題解決能力を持ち、薬学・生命科学の立場からの危機管理の素養を備え、いのあるものの幸福を目指し、創薬科学、化粧品科学をはじめとする薬学、生命科学など幅広い分野で活躍・貢献できる者に授与される。

知識・理解……「学士(生命薬科学)」は、薬学・生命科学に関する専門知識を持ち、創薬科学、化粧品科学をはじめとする薬学、生命科学など幅広い分野で活躍・貢献できる者に授与される。
 汎用的技能……「学士(生命薬科学)」は、薬学・生命科学に関する技能及び問題解決能力を持ち、創薬科学、化粧品科学をはじめとする薬学、生命科学など幅広い分野で活躍・貢献できる者に授与される。
 態度・志向性……「学士(生命薬科学)」は、薬学・生命科学の立場からの危機管理の素養を備え、いのあるものの幸福を目指し、創薬科学、化粧品科学をはじめとする薬学、生命科学など幅広い分野で活躍・貢献できる者に授与される。

総合的な学習経験と創造的思考力……「学士(生命薬科学)」は、薬学・生命科学分野において自ら立てた新たな課題を解決する能力を生涯にわたり向上させる努力をする者に授与される。
 (自らが立てた新たな課題を解決する能力)

薬学専門教育

薬学準備教育

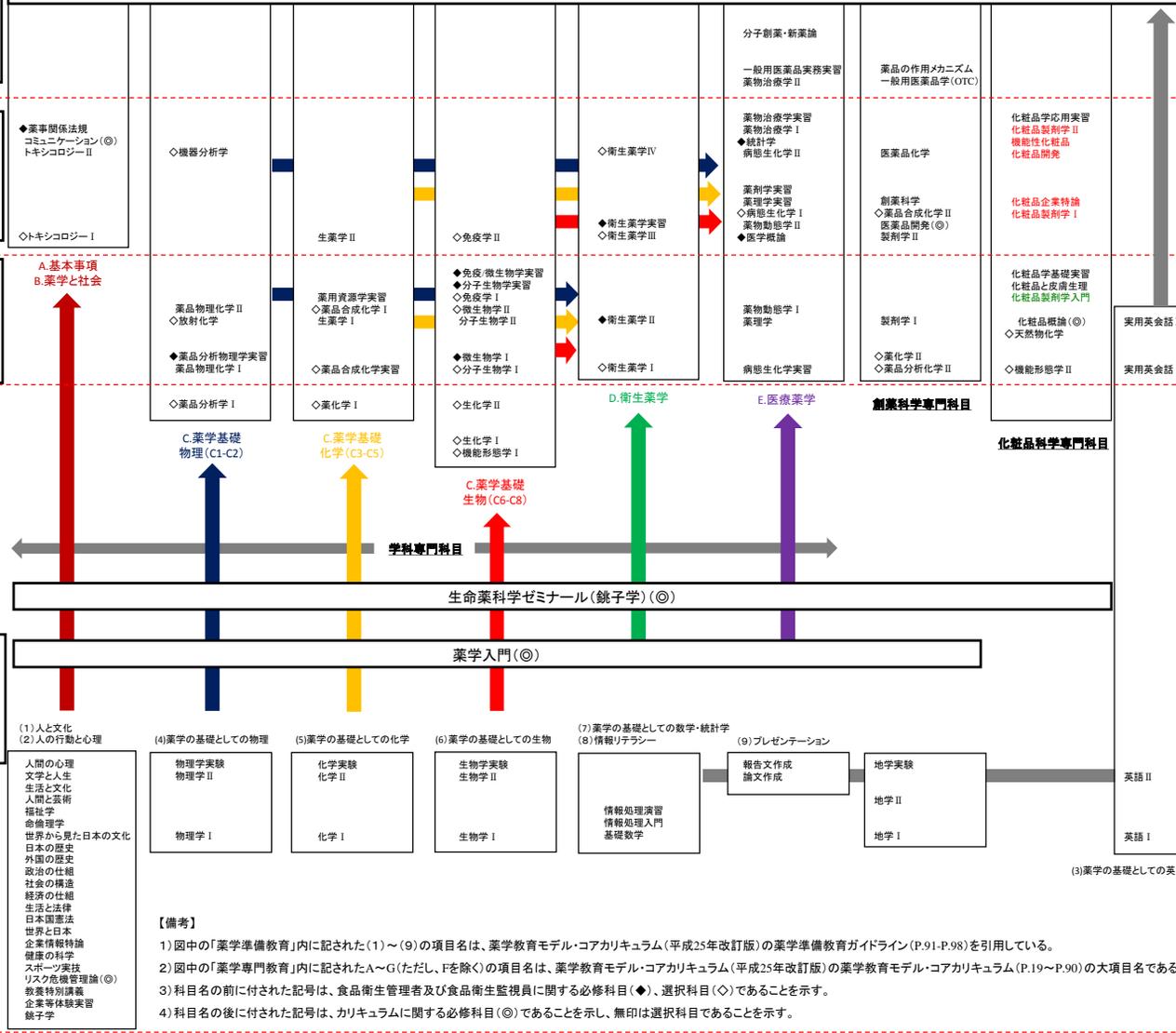
4年次

3年次

2年次

1年次

卒業研究(◎) (G.薬学研究)



- 【備考】
- 1) 图中的「薬学準備教育」内に記された(1)～(9)の項目名は、薬学教育モデル・コアカリキュラム(平成25年改訂版)の薬学準備教育ガイドライン(P.91-P.98)を引用している。
 - 2) 图中的「薬学専門教育」内に記されたA～G(ただし、Fを除く)の項目名は、薬学教育モデル・コアカリキュラム(平成25年改訂版)の薬学教育モデル・コアカリキュラム(P.19～P.90)の大項目名である。
 - 3) 科目名の前に付された記号は、食品衛生管理者及び食品衛生監視員に関する必修科目(◆)、選択科目(◇)であることを示す。
 - 4) 科目名の後に付された記号は、カリキュラムに関する必修科目(◎)であることを示し、無印は選択科目であることを示す。

(3)薬学の基礎としての英語